



絆・育む

令和元年9月1日
二瀬地区
まちづくり協議会
No. 5

優勝	新流	10分29秒61
準優勝	菰田流	10分30秒82
三位	二瀬流	10分31秒51
四位	東流	10分38秒03
五位	西流	11分26秒10



今年も順位を上げる

二瀬流

二瀬流は、7月15日「飯塚山笠追山」で、今年も飯塚の街を疾風(はやて)のごとく駆け抜けました。当日は、450余人の昇手(かきて)が、一昇入魂(ひとかきにゆうこん)を胸に出陣しました。二瀬地区の皆様と一昇入魂の昇手が固唾を飲んだ追山の結果発表は、さらなる躍進を重ねた3位でした。令和元年を進化元年に呼ぶにふさわしい結果を出しました。

そして、二瀬地区の皆様のお引き立てをもって、来年度は10周年を迎えることができます。

二瀬地区のまちづくりに歴史を刻むために、重ねてのご理解とご支援をお願いします。

末筆ながら、二瀬地区の皆様の一層のご健康とご多幸を祈念いたします。

二瀬流 山頭 小幡満明
(体育部会)

力を合わせて”まちづくり“

二瀬地区まちづくり協議会 会長あいさつ

皆様お元気のことと拝察します。

伊岐須小学校 6 年生 133 名が 6 月 13 日に乙丸地区で田植えをしました。どの苗も元気にたくましく育っています。10 月の稲刈り、1 月のもちつきが楽しみです。

さて、元号も令和となり各部会とも清新な気持ちで活動しています。

まちづくり協議会は平成 24 年 8 月 1 日に創設されて、もう 7 年を経過しました。皆様の協力により少しずつ成長しています。今後ともご支援の程よろしくお願ひします。

まちづくりとは、賑わいや楽しみ、または防犯・防災など一人では出来な

い事を住民どうしの方でつくり出していくことに他なりません。地道に足並みを揃える事が大切だと思います。格言に「遠くの親せきより近くの他人」とありますが、異常気象の続く昨今、大事な教訓ではないでしょうか。

災害時など日頃の声かけがどれ程多くの「いのち」を救ったことか実例の示すとおりです。

二瀬地区には約 1 万 9 千人の人が住んでいます。高齢者、元気な若者、子どもたちも多くいます。共に力を合わせて「住みたいまち、住み続けたいまち」を創っていきましょう。



二瀬地区
まちづくり協議会
会長 緒方 健

好天のなか、スポーツで親睦

各種球技大会

今年は天候に恵まれ、各種大会を伊岐須小学校グラウンドで開くことができました。会場は選手と応援の熱気に包まれ、幅広い学年や年齢層で親睦を深めることができました。
(体育部会)

【各種スポーツ大会の結果】

5/12 母子キックベースボール大会
(3 チーム)

(優 勝) 東川津 B
(準優勝) 東川津 A

5/19 年齢別ソフトボール大会 (8 チーム)
(A パート優勝) 西伊岐須
(B パート優勝) 新相田



←
母子
キック
ベース
ボール
大会

みんなで作ろう安心の街

防犯街頭活動

電話詐欺や空き巣などの被害は、高齢化した社会で他人事ではありません。

そのため、昨年 12 月 21 日にハローディ九工大前店敷地内で防犯街頭活動を行いました。犯罪が多くなる時期でもあるため、防犯意識を高めてもらえるよう呼びかけを行い、啓発用のポケットティッシュを配布しました。(環境部会)



自助と共助で命を守る

防災講演会

6月15日（土）10時から二瀬交流センター2階大研修室で、飯塚市総務部防災安全課の防災危機管理監である吉田英紀氏を招き「大災害から生き



延びるために」をテーマに防災講演会を開きました。

講演会は、今回で3回目となりますが、回を重ねるごとに参加者は多くなり、今回は97の方が参加しました。

近年は、世界及び日本各地で災害が多く発生しているので、災害への意識が芽生え、気持ちが高まったのではないかと思います。

自分の命は自分で守る「自助」・隣近所で助け合う「共助」と共に、声を掛け合い、災害からお互いの命を守ることが大切と教わりました。参加された方からは「良い話が聞けた」「ためになった」と喜ばれていました。

（環境部会）

泥んこになり、 食の大切さ知る

農業体験（田植え）

農業体験を通じて食の大切さを学ぶために、伊岐須小学校6年生（133人）を対象に「田植え」体験を行いました。

まず、6月10日の学校開放日に、米の歴史や日本の食文化などについて学び、13日に乙丸の休耕田で田植を体験しました。

子どもたちは「田んぼの中が歩きにくくて大変だったけど、慣れてきたら簡単に植えられるようになった」などの感想を述べていました。（福祉部会）



自分で出来るよ

夏休み寺子屋教室

7月25日に二瀬交流センターで寺子屋教室を開きました。小学生20人が参加し、九工大生といっしょに生活体験活動を行いました。子どもたちの自主性を育てることが目的です。

午前は、のこぎりや小刀を使い、竹でお椀とお箸を作り、お昼ご飯に素麺流しをしました。

午後は、夕食用の材料を自分たちで考え、買いに行きました。もちろん、

自分で材料切りや調理を行い、カレーやデザートを作りました。

子どもたちは「友達が増えた。大学生に優しく教えてもらえて嬉しかった」などの声を上げていました。

（教育部会）



九工大生に学び、成績アップ

中学校学習支援

本校は毎年二瀬地区まちづくり協議会からの支援を受け、九工大生による補充学習を行っています。具体的には、5～6月に1年生を対象とした数学の「リカバリー学習」、8月の「学習出校日」には数学・英語の復習、10～2月には3年生対象の「チャレンジ学習」です。昨年度は「リカバリー学



習」後のテストの平均点が14.3点上昇、「学習出校日」後の実力テストでは全学年で合計6教科が県平均を超え、「チャレンジ学習」を受けたほとんどの生徒が第1志望校に合格することができました。

これも、まちづくり協議会と九工大生のみなさんのお陰と感謝しています。今後も、二瀬中学校の生徒のために、ご支援をよろしくお願いします。

二瀬中学校 校長 吉田 浩昭
(教育部会)

電話で、お互いに安心

ふれあい電話訪問

二瀬地区社会福祉協議会は、二瀬地区の福祉活動全般の支援をしています。そのうちの 하나가、ふれあい電話訪問です。

毎週火曜日の午前10時に二瀬交流センターで行います。各地区の民生委員が、交代で集まり、登録された方へ電話し、訪問活動をする。それが「ふれあい電話訪問」です。登録は任意で、電話訪問を希望された方です。



電話をして、元気な声が返ってくるとホッとします。まず体調を尋ね、近況を聞き、困ったことはないかなど会話をします。電話が終わったら、訪問簿に状況を記録し、次の当番の民生委員につなぎます。会話の中で相談があれば、担当の民生委員に連絡をします。

長い電話訪問活動で、登録者の困り事を解決したり、心の支えになったりしてきました。どうぞ気軽に、電話訪問の登録をしてください。

※次の電話相談も行っています

第1火曜日

「子どもに関する相談」

第2火曜日

「人権に関する相談」

第3火曜日

「介護保険に関する相談」

第4火曜日

「その他高齢者に関する相談」

【登録や問い合わせは、各地区民生委員にお願いします】

(福祉部会)